



おさな草



No. 4

2025. 6. 12

6.12朝礼「命について考える日」校長あいさつより

みんなも知っているゆうさくさんは、本名は「ゆうとうゆうさく」と言います。雄踏小の校章、マークの桜と猫の妖精です。では、漢字で書くとどう書くのでしょうか。雄踏の雄 友だちの友 勇気の勇 遊びの遊 どれもいい感じです。けれど校長先生は、優しさの花が咲く「優咲く」と書くのではないかなと思っています。

今日は、みんなに「優しさ」について考えてほしいと思います。優しい行動をする方法には色々ありますが、校長先生はこの3つを紹介します。

1つめは、「分け合えばあまる」

あるクラスのことです。給食で大人気メニューのカリカリコロッケが3つ余っていました。でもほしい人は4人いました。4人はじゃんけんをして・・・勝った子はニコニコ、でも1人の子は・・・そこで、勝った子の一人が「半分こにしよう」と言いました。すると、4人とももらえて、あと2つ余ったので、さらに二人の笑顔が増えました。

優しい行動、二つ目は「ふわふわ言葉」です。

友達にこんな言葉を言われたことありませんか？「きもい、くさい、きらい、あっち行って、～しろ」相手の心を傷つける言葉を、心に刺さるチクチク言葉と言います。反対に「ありがとう、いいね、いっしょにあそぼう、てつだうよ」のように、相手の心をふんわり、やわらかくしてくれる言葉をふわふわ言葉と言います。どっちを使うことが雄踏小に優しさが広がっていくのでしょうか？

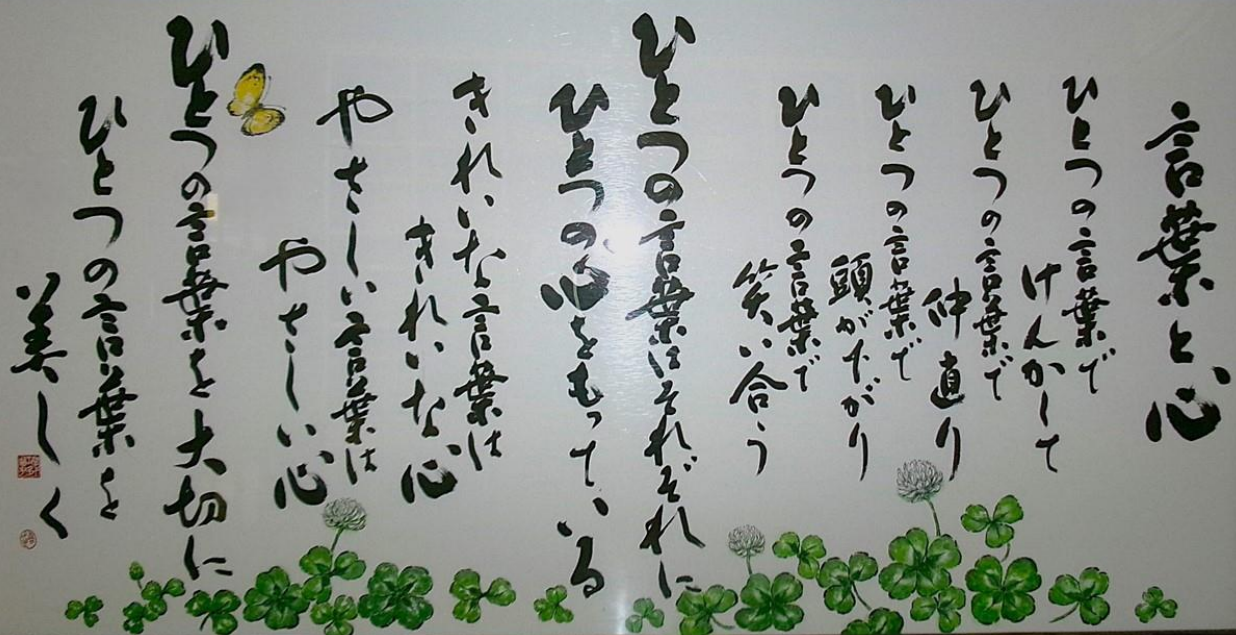
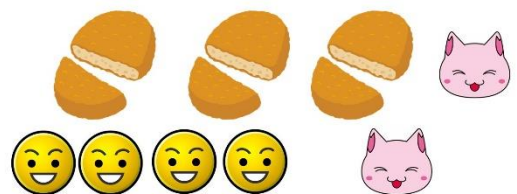
みんなが靴をはきかえる場所にこんな詩が飾ってあるのを知っていますか。もとは北原白秋さんという人の詩です。

ぼくのなまえは
ゆうとう ゆうさく です



優しさ

・わけあえば あまる



優しい行動、三つ目は「自分も大切、友達も大切」です。相手の気持ちを思って行動することはとても尊い、素晴らしいことです。でも、そのために自分の気持ちを我慢してばかりというのは間違いです。友達の気持ちが大切なのも同じで、自分の気持ちも大事です。なぜなら、だれでもたった一人の、どの子も代わりがいない大切な存在、命、大切な人だからです。自分の心や気持ちも大切に、それと同じように友達のことも大切にできたら・・・ふわふわ言葉が増えたら・・・分け合う気持ちで過ごせたら・・・雄踏小にはたくさんの優しさの花が咲くと思います。

ゆうさくさんも、きっとそんな雄踏小になってほしいと願っていると思います。

今日は浜松市で決めた「命について考える日」です。学級に戻って、このお話のことや道徳の勉強で、優しい花の咲く学級や学校になるために、自分でできることを考えてほしいと思います。

ゆうさく

優やさしく

やさ

優やさしさの

花が 咲く

雄踏小に

やさ

優やさしさの

さ

花を咲かせよう



優しさ

ともだち

たいせつ じぶん

たいせつ

友達 は 大切 自分はもっと大切



ひとりひとりが
だれもかわりがいない 大切な人
だれでも 命は たった一つ
自分の命や心を きずつけること
友達の命や心を きずつけること
ぜったいに しないようにしよう

「6月12日 朝会での校長の話より一」

この話を受けて、6月20日（金）昼休みに、6年生の企画委員が全校児童に向けて「命の日を考えるイベント」を開く予定です。子供たち自身が、よりよい学校、優しさいっぱい为学校づくりに取り組んでくれることを、とても嬉しく思っています。

※今号は、「命について考えるの日」に合わせて早めに学校便りを送付しております。

次号は、終業式7月23日（水）を予定しております。